

甲子園

開幕

野球に

燃える

親父たちの



写真提供：株式会社ボールパーク秋田

参加申込：所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ2019年4月19日(金)まで提出
お問い合わせ：大仙市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課 TEL0187-63-1111

第3回 全国500歳野球大会 2019年7月13日[土]~15日[月]

- 主催 大仙市 秋田魁新報社 (500歳・550歳野球大会実行委員会)
- 主管 秋田県軟式野球連盟 秋田県軟式野球連盟大仙支部
- 後援 公益財団法人全日本軟式野球連盟 公益財団法人秋田県体育協会 秋田県野球協会
大仙市教育委員会 大仙市体育協会 一般社団法人大仙市観光物産協会
株式会社日本旅行東北大曲支店 大曲商工会議所 大仙市商工会 (予定)

第3回全国500歳野球大会開催要項

- 1 主 催 大仙市・秋田魁新報社(500・550歳野球大会実行委員会)
- 2 主 管 秋田県軟式野球連盟・秋田県軟式野球連盟大仙支部
- 3 後 援 公益財団法人全日本軟式野球連盟・公益財団法人秋田県体育協会
秋田県野球協会・大仙市教育委員会・大仙市体育協会
一般社団法人大仙市観光物産協会・大仙市スポーツ合宿事業推進委員会
大曲商工会議所・大仙市商工会・(株)日本旅行東北大曲支店
- 4 協 力 NPO法人 秋田げんき情報 かがやき・FMはなび・株式会社ボールパーク秋田
- 5 特 別 協 賛 ナガセケンコー株式会社・(有)佐藤養助商店・サントリー酒類(株)・東北醤油(株)・秋田清酒(株)・秋田おばこ農業協同組合・神岡嶽ライオンズクラブ
- 6 会 場 大仙市総合公園野球場(大曲球場)・大仙市宮神岡野球場
大仙市宮八乙女球場・大仙市宮協和野球場・大仙市宮仙北球場
大仙市宮太田球場
- 7 大 会 日 程 2019年7月12日(金) 監督・主将会議、開会式、レセプション
2019年7月13日(土)～15日(月) 予備日:7月16日(火)
※ 降雨等により日程どおりの実施が不可能と判断した場合は、随時変更する
場合もある。
- 8 出 場 チ ー ム
 - ・ 秋田県を含む各都道府県から全32チーム
 - ・ 各都道府県チーム
 - I 出場チームの選出は、事前に大会事務局へ本大会への参加意向を申し出たチームとする。
 - II その他、大会主催者が特に認めたチーム。
 - ・ 前年度優勝、準優勝チーム
 - ・ 秋田県代表2チーム(前年度全県500歳野球大会優勝・準優勝チーム)
 - ・ 特別枠① 大仙市交流都市枠(3チーム)
神奈川県座間市1・岩手県宮古市1・宮崎県宮崎市1
 - ・ 特別枠② 大仙市枠(大仙市内から2チーム)
出場チームは前年度全県500歳野球大会の上位進出チームとする。
 - ・ 特別枠③ 上記においても定数に満たない場合は、前年度全県500歳野球大会の上位成績チーム及び開催地の上位成績チームを大会主催者が選抜する。
- 9 出 場 資 格
 - (1) 大会開催年度内に満50歳以上となる方。
(昭和45年4月1日以前生まれの方)
 - (2) 登録は、監督、主将を含め30人以内とする。
 - (3) ゲーム出場選手9人の合計年齢が500歳以上。※ 年齢の算定基準日は2019年7月13日とする。(大会初日)
- 10 組 み 合 わ せ 抽 選 大会役員立ち会いのもと、厳正に代理抽選を行う。
 - (1) 日時 2019年6月7日(金) 午後3時～
 - (2) 場所 秋田魁新報社本社 6階 会議室
〒010-8601 秋田県秋田市山王臨海町1-1
TEL018-888-1857

- 11 監督・主将会議 出場チームの監督・主将または代理者、合計3名以内の出席で下記により行う。
 (1) 日時 2019年7月12日(金) 午後4時～
 (2) 場所 山の手ホテル
 〒014-0072 秋田県大仙市大曲西根字仁応治67-3
 TEL0187-68-2001
- 12 開 会 式
 ・レセプション 各出場チームの参加人数は3名以内とする。
 (1) 日時 2019年7月12日(金) 午後5時～
 (2) 場所 山の手ホテル
- 13 表 彰 優勝 賞状・優勝旗・優勝杯・優勝メダル
 準優勝 賞状・準優勝杯・準優勝メダル
 3位 賞状(2チーム)・トロフィー
 [個人賞]
 最高殊勲選手賞・最優秀投手賞・首位打者賞・敢闘賞・打撃賞・
 最優秀新人賞・勝利監督賞・オールドパワー賞(3位以上のチーム)
- 14 参 加 申 込 2019年4月19日(金)必着で所定の用紙に記入し、郵送またはE-mailにて、「大
 仙市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課 第3回全国500歳野球大会事務局」へ申し込むこと。
 ※特別枠③で選抜されたチームに関しては、2019年5月21日(火)までとする。
 注1 申込用紙は2019年1月下旬以降、大仙市・秋田魁新報社の両ホーム
 ページからダウンロード出来る。
- 15 参 加 料 20,000円
- 16 宿 舎 等 幹 旋 宿舎、弁当、大会プログラム追加分の幹旋を希望するチームは別途連絡する。
- 17 そ の 他
- ・ 大会参加チームは、必ずスポーツ保険等に加入しておくこと。
 万一、怪我等が発生した場合、当大会事務局では責任を負わない。
 大会期間中の傷病については、大会本部では応急手当までとし、それ以降
 は当該チームまたは選手個人で負担のこと。
 - ・ 大会参加者は、健康保険証を持参のこと。
 - ・ その他不明な点については、下記大会事務局まで問い合わせのこと。

<本大会事務局>

〒014-8601 秋田県大仙市大曲上栄町2番16号
 大仙市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課
 全国500歳野球大会事務局
 TEL 0187-63-1111(内線343)
 E-mail kyouiku-sup@city.daisen.akita.jp

〒010-8601 秋田県秋田市山王臨海町1-1
 秋田魁新報社 事業局 企画事業部
 全国500歳野球大会事務局
 TEL 018-888-1857
 E-mail jigyo@sakigake.jp

第3回全国500歳野球大会実施細則

- 1 選手 の 登 録 チームの登録は、チーム代表者(部長)、監督、コーチ、主将、マネージャー、スコアラーを含む30人以内の選手等とし、ベンチに入れる人員も同様とする。ユニホームを着用しない登録者に関しては、年齢・性別を問わない。
- 2 ベンチ及び攻守
 - (1) 組み合わせ番号の若い番号のチームを一塁側とし、攻守は当該試合の球審の立会のもと、トスで攻守を決定する。
 - (2) 打順表は、大会本部で配布(代表会議で全チームへ配布。二回戦以降は試合終了後勝利チームに配布する。)するものを使用することとし、第一試合においては試合開始30分前までに本部に提出し、照合を受けるものとする。
 - (3) 第二試合以降は本部にチーム到着の旨を告げ、本部の指示を受けるものとする。なお、試合開始時刻になっても到着の連絡がないチームは原則として棄権とみなす。
- 3 試 合 形 式
 - (1) 本戦は7イニング制のトーナメント方式とし、1時間50分を超えて新しいイニングに入らない。また、5回以降10点差によるコールドゲームを適用する。ただし、決勝戦は時間制限、コールドゲームを適用しない。
 - (2) 7回終了時または1時間50分経過時点で同点の場合はタイ・ブレイクを適用する。タイ・ブレイクは一死満塁で行い、打順は任意とし、走者は打者の逆順とする。打順は開始前に双方の監督、審判立会の上決定し、次回以降は前イニング終了後からの継続打順とする。(決勝戦は7回終了時点で同点の場合、適用する。)
 - (3) 本戦1回戦敗者チームを対象に交流戦を実施する。ただし、秋田県内チームは対象としない。交流戦参戦チームは大会初日午後5時まで大会事務局へ申し出るものとする。交流戦は5イニング制とし、1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。同点の場合は、引き分けとする。(コールドゲーム、タイ・ブレイクは適用しない。)
 - (4) 競技場区画は投手～本塁間16m。塁間23m。両翼～本塁間80m、中堅～本塁間90m。バッターボックス区画やベース類は一般用のものを用いる。
 - (5) 投手、野手にこだわらず1度ゲームを退いても、何度でも出場できる。ただし、投手がイニングの途中で退いた場合、同イニングでの再登板は認められない。
 - (6) 55歳までの投手が投球出来るのは、アウトカウント12を取るまでとし、56歳以上の投手に制限は設けない。ただし、タイ・ブレイクに至った場合は年齢制限を除外する。
 - (7) タイムの制限:「監督またはコーチが投手の所へ行く回数」、「守備側」、「攻撃側」が1試合中に要求できるタイムは、それぞれ3回までとする。なお、タイブレーク時は2イニングに1回要求することができる。野手(捕手も含む)が投手の所へ行った場合、そこへ監督またはコーチが行けば双方1度として数え、逆の場合も同様とする。
 - (8) 試合の規則は「全国・全県500・550歳野球大会特別ルールブックvol.1」を適用する。

- 4 競技上注意事項
- (1) 大会使用球(ケンコーボールM号)及びロジンバックは大会本部で用意する。
 - (2) ユニホーム・装具等
ユニホームは同一チームと認識できるように、全員同色・同形・同意匠のものを着用することとし、装具は公認野球規則に規定されているものとする。
※詳細については、「特別ルールブック」P1及びQ&Aを参照すること。
 - (3) シートノック及び練習会場等
シートノックは5分間とする。ただし、大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。試合前の練習場所等は当該会場にて大会本部の指示を受けるものとする。
 - (4) スコアシートの確認
対戦した両チームの代表者は、試合終了後、大会本部で作成したスコアシートの内容を確認しサインする。その際に、勝利チームへ個人カードの返還と次試合の打順表を交付する。
- 5 荒天時の対応
- (1) 雨天の場合でも、球場使用が可能な場合は原則試合を行う。
 - (2) 雨天による一部中止をしても、試合可能な球場等に場所と時間を変更して行う場合(日没等含む)がある。この場合は大会本部より連絡する。
 - (3) 前項の問い合わせは、混乱を避けるため各チームの代表者が行い、周知する。
- 6 大会特別規定
- この細則は、想定される競技運営上の決定事項であるが、想定されない事項が発生した場合は大会本部の決定を優先することとする。

